

2025年07月

「脈と経絡」の中医学概念及び臨床応用

上海中医薬大学附属日本校 陳 雷

一、「脈と経絡」の概論

(一) 定義

1. 脈とは ①「血理分表行體者。」《説文解字》 ②経絡のこと。
2. 経絡とは
全身の気血を運行し、臓腑と四肢を連係し、表裏上下内外を疎通させる通路である。
「経脈」と「絡脈」を分類します。
3. 中医学の概念 ●「皮肉筋骨脈」五体の一つ
●脈為血の府——血脈
●心主血脈；肺朝百脈
●營在脈中、衛在脈外
●経絡の分類：経脈と絡脈

(二) 分類と分布

- 経絡 → 経脈（縦行、規則）と絡脈（不規則）
1. 経脈 ①十二正経 → 本経・経別・経筋・皮部
手三陰三陽
足三陰三陽
②奇経八脈 → 督・任・帶・衝・陽蹻・陰蹻・陽維・陰維
 2. 絡脈 ①十五大絡 ②孫絡 ③浮絡

(三) 機能

1. 生理機能（平常、健康の場合）
 - ①全身各所を繋がる。
 - ②気血を上下・内外に運び、栄養する。
 - ③全身各種の機能を調節する。
 - ④刺激の感応を伝達する。
 - ⑤人体のバランスを良くする。
2. 病理機能（異常、病気の場合）
 - ①病邪を上下・表裏に伝播する。
 - ②疾病の原発部位から身体の各部に波及させることがある。

二、「脈と経絡」の中医学臨床応用

(一) 診察弁証における応用

1. 診察方面の応用

①脈診 ②脈絡診察

2. 弁証方面の応用

「経絡弁証」

- 病位弁証 ⇔ 経脈所属
- 症候弁証 ⇔ 経絡病・臟腑病
- 病性弁証 ⇔ 虚実・寒熱

(二) 治療養生における応用

- 鍼灸療法 → 腧穴（経絡）
- 推拿療法 → 経絡腧穴
- 導引（気功）療法 → 経絡
- 飲食方薬療法 → 帰経（経絡）